

⑦ プレイルーム

いつでもだれでも体験が楽しめる場所として無料で開放しています。縄文時代の布である編布（アンギン）製作や糸紡ぎ、縄文衣装の試着、当館の展示物を題材とした「ぬりえ」など、各種体験ができます。



⑧ 企画展示室

特別展示・企画展示・資料展示などの会場となります。

⑨ 野外展示・縄文の森



■復元竪穴住居

野外展示として、縄文時代の竪穴住居が復元されています。住居内を自由に見学できます。

開放時間 10:00～15:30

⚠ 見学についてのお願い

- 入口は急な階段（はしご）となっておりますので、足元に注意してお入りください。
- 中は当時の様子を再現しているため、薄暗くなっておりますので、ご注意ください。
- 中では火を焚いている時があります。火には近づかないようにご注意ください。

利用案内

- 開館時間 午前9:30～午後5:00(入館は午後4:30まで)
- 休館日 ・毎週月曜日(祝・休日にあたるときは翌日休館)
・館内整理日(毎月第4金曜日、ただし例外あり)
・燻蒸期間 ・年末年始(12/28～1/4)

観覧料

■常設展観覧料 ※企画展・特別展は別料金をいただくことがあります。

	個人	大学・高校生	小・中学生
一般	310円	150円	無料
団体(20名以上)	250円	100円	(市内・市外問わず)

■次に該当する方は観覧無料です。

- ・市内在住で70歳以上の方
- ・身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介護人(手帳の交付を受けている方1人につき1人)

交通案内

- 電車 ①新京成線「八柱駅」・JR武蔵野線「新八柱駅」下車、松戸新京成バス3番のりば小金原団地循環か新松戸駅行「森のホール21・公園中央口」下車すぐ。
②JR常磐線「新松戸駅」下車、松戸新京成バス3番のりば八柱駅行「森のホール21・公園中央口」下車。地下道を通ってすぐ。
- 徒歩 「八柱駅」・「新八柱駅」より徒歩約15分。さくら通りを桜橋で左折し、側道で地下を下りて直進。
- お車 来館者専用の駐車場はございませんので21世紀の森と広場の有料駐車場をご利用ください。東駐車場へは、国道6号線、小金消防署入口を八柱方面へ。森のホール21を過ぎたら側道を上がって左折。
※障害者専用の駐車場をご用意しております。詳しくはお問合せください。



松戸市立博物館

〒270-2252 千葉県松戸市千駄堀671

TEL:047-384-8181 FAX:047-384-8194

<http://www.city.matsudo.chiba.jp/m-muse/>



松戸市立博物館公式キャラクター
「じょうちゃん・もんちゃん」

@matsudomuseum

@matsudo.museum

@matsudo_museum

松戸市立博物館

MATSUDO MUSEUM

利用案内

施設案内



① ビデオコーナー

松戸に関する民俗芸能や文化財案内の映像をご覧いただけます。

② ミュージアムショップ

当館で開催した展覧会の図録などの刊行物、当館オリジナルのミュージアムグッズを販売しています。

③ 喫茶コーナー

軽食や飲み物などをご用意しております。

④ 講堂

ミュージアムシアターとして、映像ソフトを月替わりで上映しています。また講演会の会場としても使用しています。

⑤ 実習室

体験教室や各種講座などが開かれます。

⑥ 閲覧コーナー

考古学・歴史学・民俗学など当館所蔵図書の閲覧ができます。



■喫茶コーナー



■講堂



■閲覧コーナー

総合展示

ZONE 1 人類の登場

旧石器時代では、人びとは主に石器を用いて食料を得ていました。必須の道具であった石器。その製作や石器石材の特徴をもとにして、当時の人びとの生活の一面を再現しました。



■市内発見の旧石器

狩りと採集のムラ

ZONE 2

縄文時代になると、土器が発明され、前代からの狩猟・採集活動に加えて、漁撈(ぎょうろう)を行なうようになり、河川や海の資源を積極的に利用し始めます。約1万年間続いた縄文時代の中で見られた人々の生活の移り変わりを、土器や石器等をとおして見るができます。



■石皿と磨石(すりいし)



■深鉢形(ふかばちがた)土器

ZONE 3 稲作社会の誕生

弥生時代になると、大陸から稲作を中心とする農耕文化がやってきます。やがて、日本列島は土を盛った巨大な墓をつくる古墳時代となり、近畿地方を中心とする国が形成されていきます。市内出土の資料からその移り変わりを紹介します。



■河原塚1号墳(復元模型)

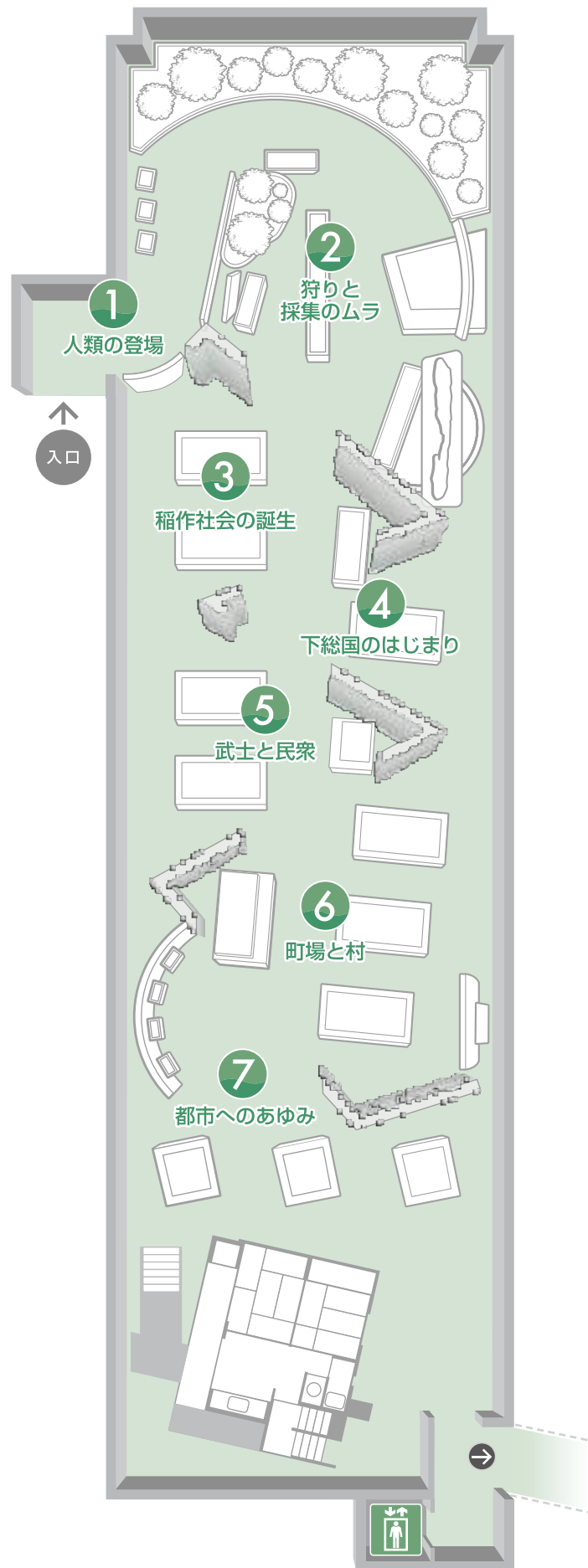
下総国のはじまり

ZONE 4

律令(りつりょう)という法による本格的な国家がはじまる奈良・平安時代。その頃の松戸は下総国西端の葛飾郡に含まれていました。ここでは、当時の役人の身分を示すベルトの飾り(銚帯金具/かたいかなく)や墨書土器などを展示しています。



■銚帯金具(小野遺跡出土)



ZONE 5 武士と民衆

ここでは、平安時代の終わりころから戦国時代までを展示しています。武士が登場し、支配者として次第に力を付けていく一方、いろいろな職業の人々も見受けられるようになります。



■小金城跡(復元模型)



■阿弥陀三尊板碑(あみださんぞんいたび)

ZONE 6 町場と村

江戸時代、松戸と小金は江戸と水戸を結ぶ水戸道(水戸街道)の宿場として賑わいました。その周辺は農村で、幕府の馬牧「小金牧(こがねまき)」があり、野生の馬が放牧されていました。江戸川には金町関所があり、その上流の松戸河岸(かし)は大消費地の江戸と舟運(しゅううん)で結ばれ栄えました。



■松戸の河岸(復元模型)

ZONE 7 都市へのあゆみ

明治時代からのできごとを展示しています。昭和30年代から松戸は農村から今のような町に急が変わり、多くの人たちが住むようになりました。その先駆けだった常盤平団地(ときわだいらだんち)に住んだ人びとは東京に勤めるサラリーマンの家族が多く、椅子式の食卓テーブルを使い、白黒テレビや電気洗濯機などの家電製品をそろえた当時の新しい洋風な生活をしていました。



■常盤平団地 居間とダイニングキッチン



■2DKの住まい

主題展示

考古学と科学の眼

主題展示 1

遺跡から発見されたさまざまな考古資料の年代や、縄文時代の人々が生活していた当時の森や海の様子などは、実際にどのように調べるのでしょうか、その科学的な研究方法を紹介します。



虚無僧寺一月寺

主題展示 2

江戸時代、小金にあった一月寺(いちげつじ)は、編笠(あみがさ)をかぶって尺八を吹く宗教活動を行う虚無僧(こむそう)のお寺でした。虚無僧のなかには、元は武士身分であった者が落ちぶれた、いわゆる浪人もいました。



二十世紀梨の誕生

主題展示 3

「二十世紀」というナシが明治時代、大橋で誕生しました。今のナシのほとんどはそのこどもたちです。室内には保存処理された「二十世紀梨」原木が展示されています。



三匹獅子舞

主題展示 4

市内の3地区で演じられている「三匹獅子舞」を映像で紹介しています。シシ(獅子)が登場する芸能にはさまざまな違いがありますので、三匹獅子舞の特徴がわかるように、系譜と地域的な広がりについて解説します。

